

II 第6次NACCS開発コンセプトと詳細仕様



II 第6次NACCS開発コンセプトと詳細仕様

官民共同利用システムとして、 安定性・信頼性の高いシステム

- ・システムの安定性、信頼性を確保するシステム更改の実現
- ・情報の適正管理と情報セキュリティの確保
- ・平成22年12月10日に発生したシステム障害を踏まえ、バックアップ機能の改善等の検討

- ・空／海統合、関係省庁システム統合後の初めての更改であり、円滑なシステム移行を確保
- ・現行NACCSと同等の稼働率の継続
- ・セキュリティ機能の見直し
- ・バックアップ機能の改善
⇒ 切替時間の短縮化
⇒ 関係省庁手続のバックアップ機能の強化
⇒ 切替方法の改善（利用者側の作業軽減）

公共的インフラとして、効率性・ 経済性の高いシステム

- ・システムの効率性、経済性を確保するシステム構成、業務機能の見直し
- ・システム開発コストの低減化の実現
- ・関係省庁システムとの統合の見直し

- ・業務実態・利用者ニーズを踏まえた業務全般の最適化及び開発コストの低減化
- ・利用実態等を踏まえたオンライン業務、管理資料の一部統廃合
- ・利用者側システムへの影響を抑制したシステム開発
- ・一般競争入札による調達
- ・港湾サブシステム等のNACCS統合化

総合物流情報プラットフォーム としての更なる機能の充実

- ・関係業界、利用者のニーズを業務仕様に反映
- ・貿易関連手続きの更なるペーパーレス化の進展
- ・BtoB、BtoGのポータルとして、国際的なシステム連携機能や民間システムとの連携強化の検討
- ・利用者インターフェース、ネットワークの充実

- ・利用者ニーズを十分に反映するためサブワーキングを設置
- ・損害保険業務とNACCSとの連携
- ・添付ファイル容量の拡大（3MB→10MB）
- ・EDI FACT、XML等の利用による国際標準への対応
- ・船腹予約業務、危険物明細書のシステム化の検討
（海上）
- ・荷主の情報入力を最上流とする業務フローの見直し
（海上）
- ・Web NACCSの対象範囲の拡大

○空／海システム統合、関係省庁システム統合後の初めての更改

- システムの安定性・信頼性
⇒ バックアップ機能の改善
⇒ セキュリティ機能の見直し 等

○税関手続関連の見直し

⇒ 通関関係書類の電子化・ペーパーレス化の推進

・添付ファイル容量の拡大 等

・損害保険業務のシステム化

⇒ システム対象手続の拡大

・ドキュメント通関

・輸出取止め再輸入手続 等

○業務実態、利用者ニーズを踏まえた見直し

- ⇒ 海上業務フローの見直し
・第5次からの参加業種の業務処理フローの見直し

⇒ 海上システムにおける航空貨物の取扱いの廃止

⇒ 蔵出し後の後続処理可能化

⇒ 各種制限値の見直し

⇒ プロ変要望（245件）の検討

⇒ 業務の統廃合等の実施

⇒ 専用口座の廃止

⇒ ユーザインターフェースの見直し

⇒ システム停止時間の短縮化

○総合物流情報プラットフォームとしての機能充実

- ⇒ 港湾サブシステム統合
・入出港SW機能の拡充
- ⇒ 民民業務の拡充
・船腹予約業務等のシステム化
・ACL、CY搬出入業務の改善
- ⇒ 業種拡大
・損害保険会社